

2. 経済学部

【現状説明】

本学部は、「現代世界の内外の経済現象を正確に認識し、実践的に対応する能力を培うとともに、経済学・経営学及び商学の基礎学力とをバランスよく備えた専門的職業人の育成」を理念として掲げている。

この理念に基づき具体的に次の3点を教育目標と定めている。

- (1) 情報を吟味・考察し、自らの意見を表現する能力を養う。
- (2) 総合的な判断力と思考力をもって経済社会の変化に対応できる人材を育成する。
- (3) 実践的な場で専門を生かすことのできる専門知識と技能を身につけた人材を育成する。

この教育目標は教授会において本学部教員に周知徹底されており、教育の場で実践されてきた。またカリキュラムはこの教育目標にもとづいて改革が行われてきた。学生に対しては、入学時のガイダンスにおいて周知徹底が図られているが、その他学内、学外に対する公表は現在まだ十分ではなく、本学部のホームページにおいても十分に記載されていない。

【点検・評価】

現代社会の変動は激しくとりわけ経済をめぐる環境は日々変化しているが、本学部が掲げる教育目標はこうした時代状況に対応できるものといってよい。本学部は経済学と経営・商学の幅広い分野の教員スタッフで構成されており、学生の教育と指導にこれら教員が連携して当たることでこの教育目標が具体化され成果をあげている。またカリキュラムも教育目標に基づいて編成されている。ただ、これを実現していく環境については、双方向型の教育を困難にしているが大人数教育からの脱却が難しい環境にあり、教育環境の改善が教育目標の達成には不可欠と言える。

【改善方策】

本学部の理念と目的にもとづき教育目標を達成し周知をはかるため、次の3つの施策によって改善に取り組む。

- (1) 教育密度を高める授業方法の改善を目指し本学部の委員会において検討を開始する。
- (2) 教育目標の達成に制約となっている大人数教育を改善すべく教員スタッフの充実をはかる。
- (3) 本学部のホームページによって教育目標を学内外に公表し周知をはかる。